



第570号

「島のひろば」編集委員会
電話 04992-2-8256

Eメール:jcposhima@yahoo.co.jp
www3.plala.or.jp/jcposhima/

(検索サイトからは「日本共産党 伊豆大島」)

くらしの相談は共産党町議団へ
山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318

共産党3 6人当選 現有11から14へ前進 山添拓さん4位で初当選 野党統一は11議席と健闘

参院
報告
特集
選



参議院選挙の結果について
日本共産党大島町委員会
一、7月10日投票で実施された参議院選挙の大島町の結果は、日本共産党は比例で2位、東京選挙区で新人の山添拓氏が3位、全都では4位で初当選を果たしました。
一、全国でも、改選3議席を6議席に、比例でも前回の515万余から601万余票に伸ばし、現有11議席から14議席に前進しました。なお、野党統一では11人が当選、大健闘しました。
一、日本共産党は、島民の声をはじめ、公約実現に奮闘する決意です。
(写真は初当選を果たした山添拓氏)

東京選挙区大島の結果

氏名	党派	得票数	得票率	全都得票数
当 中川雅治	自民党	863	22.35%	884,823
当 竹谷とし子	公明党	693	17.95%	770,535
当 山添拓	共産党	618	16.01%	665,835
当 蓮 舫	民進党	493	12.77%	1,123,145
当 朝日健太郎	自民党	388	10.05%	644,799
当 小川敏夫	民進党	197	5.10%	508,131
三宅洋平	無所属	142	3.67%	257,036
次 田中康夫	お維新	118	3.05%	469,314

比例の結果

	大島の得票数	前回	全都の得票数	全国の得票数
自民	1,606	1,252	2,134,931	20,114,788
共産	690	693	833,463	6,016,195
公明	643	676	710,528	7,572,960
民進	535	334	1,227,608	11,750,965
お維新	145		455,849	5,153,584
生活	90	248	197,844	1,067,300
社民	85	65	175,458	1,536,238
こころ	46	64	102,676	734,024
改革	40	51	107,833	580,653

地区別投票率等(選挙区)

	泉	岡	北の	元	野	間	差	グ	波	計
今回	66.07	68.88	57.06	59.71	65.19	66.40	60.23	57.58	62.18	60.94
前回	68.38	70.58	57.7	57.8	64.64	63.95	62.39	61.61	57.67	60.58
投票数	220	487	679	1298	206	83	571	323	263	4130
うち期日前	58	180	253	541	44	21	175	85	60	1417
有権者数	333	707	1190	2174	316	125	948	561	423	6777

注記:投票数4,130、有効投票数は3,860。(投票数の中に在外投票数2票は除いています。入れると、投票者総数は、4,132となります。)

島にやさしかった都政

対話で島民の声を都政に反映

日本共産党大島町委員会の見解を紹介します

1967年—およそ50年前「明るい革新都政をつくる会」を推進母体にして誕生した「革新都政」。知事となったみのべさんは、「都民の声に耳を傾ける」対話集会を重視し、島々でも行い、寄せられた島民の声を都政に反映し、多くの願いを実現するなど、「島にやさしい」都政を進めました。その実績には、次のようなものがあります。

- 各学校に体育館・プールを建設。
- 学校警備員人件費への補助強化。
- 教材費等の保護者負担軽減のため
- に学校運営費補助を強化。
- 各島に勤労福祉会館を建設。
- 「狂乱物価」から島民の暮らしを守るため、貨物運賃補助制度を強化。
- 65歳以上の老人医療費を無料に。
- 医師に対する給与費の補助。
- 定時制高校生の教科書を無償に。
- 難病医療費の公費負担の対象となる
- 疾病を大幅拡大。(国10、都23に)

(時得孝良氏の「私と日本共産党」の続きは、次号に掲載します。)

共産党町議団の

一般質問(続報)



小池 渉議員

各種減免・補助事業制度の広報改善を

小池 現在、国や都、大島町独自の減免措置や補助、支援事業が実施されているが、住民に良く伝わっていないので、支援事業一覧表作成や町のホームページに掲載するなど、住民にやさしい広報活動に取り組んでいただきたい。

答弁(課長) ご指摘は住民の立場で考えた場合、真しに受け止めたい。町は、「広報おおしま」もホームページも改善に努めています。また改善の余地はあると考えています。

ごみ袋・水道料の減免措置の拡充を

小池 国の経済政策のもと住民の暮らしは大変ですが、町

民の暮らしを守る立場から、次の2点を提案します。

1、指定ごみ袋の減免対象の「紙おむつ」は、「寝たきり」が条件ですが、「紙おむつ」を使っている高齢者世帯へ拡充すること。

2、水道料金の減免対象の80歳を「75歳以上」に広げるか「50%減免」にすること。

答弁(町長) 基本的に減免措置についての現行制度を拡充する考えはありません。「紙おむつ」ごみ袋については、寝たきり高齢者と同等なら配布するようになります。水道料減免は、受益者負担適正化の観点から拡充は困難です。

波浮の旧「港屋」など観光施設の整備を

小池 ある旅行会社の伊豆大島日帰りツアーに、「伊豆の踊りっ子ース」を実施しているが、町民の方から「観光に来てもらっても、旧港屋など管理や施設の中身も不十分。もっと整備してほしい」との声が上がっています。そこで提案します。

とりあえず一例として、旧港屋に泊まった著名人(林芙美子、与謝野晶子等)の写真や波浮港にまつわる作品を展示すること。

答弁(課長) 管理は、清掃と開け閉めは、シルバー人材センターに、トイレ清掃は近隣の民間の方に委託(年約400万円) 施設の老朽化が進み、大規模改修か軽微な修繕で維持管理していくか、検討する時期であると思えます。施設の整備のご提案については、管理人をおく必要があること、近くに関連施設があることから、今後地域の方々と相談して町の方針を示さなければと思います

答弁(町長) 旧港屋旅館については、今後数千円単位の大規模修繕等が発生した場合、場合によっては取り壊しも選択肢の一つとして考えております。取り壊すことも、施策の前進であり、仮に取り壊すとしても、貴重な財産・観光資源で、後世に継承しなければならぬことは承知している。地域住民等とも相談して、港屋の跡地をどう活用するか、決定したいと思えます。

大島文学・紀行散策

学者・評論家編

本田正次(植物学者) 「大島の春」外

六

444 時得孝良

【伊豆大島の春】

引用をもう少し続ける。

「御神火茶屋では、これ(アシタバ)を佃煮にして前に述べた大島桜の風流なくり物の器の中に入れて売っている。私はこれが欲しかったので二日目山歩きの際に、御神火茶屋に立ち寄ったが既に売り切れて残念だった。草の勢いも旺盛だが、売れ行きも亦盛んなものと見える。以下略」

話はそれるが、当時のアシタバの佃煮は、島内で製造していたのか否か、手元に資料がないので分からないが、戦後は元町の山田定吉・あき夫妻(山田一蔵氏のご両親)が製造、1960年前後から10年余、一蔵さんの奥さん仁子さんが後を継がれたという。

製法は、一年間大樽に塩漬けたものを茹で、醤油、砂糖、カラメル、酒(焼酎)で味付けしたという。現在、シルバー人材センターが伝統を守っているとのことである。さて、本田は最後にオオシマカンズゲヤオオバヤシャブシが花盛りであること、常緑樹では、ヒサカキとモクレイシが花をつけているが、いずれも植物学者には面白く映ずる

が、同行のほとんどが、これらを見逃して先を急ぐこと、そして三原山では、ミハライタドリとシマタヌキランの痛ましい枯れ姿に顔をそむけて下山したことなどを記し、この小文を閉じている。

大島には、六百種類以上の植物が存在しているとのことだが、私などは、暮らしや遊びに関わり、名前も方言で呼ぶ植物しか知らない。固有種の「オオシマカンズゲ」は、単に「スゲ」といって、乳牛の餌であり、「オオバヤシャブシ」は「ハンノキ」と誤って呼び、炭の原木であり、少年にとつては、「ゲンジ」(クワガタ)がたくさん棲息している、木をゆするとバラバラと落ちてくる宝の木であった。

【伊豆大島の植物】この「大島の植物」は、「自然科学探訪団」の講師として、来島した二ヵ月後に、雑誌「科学知識」1936年5月号に掲載されたもので、「大島の春」と同様にごく短い文章である。内容も題名が示すように大島の植物について、その特徴を植物学者の視点で記述している、しかも植物名も私の耳に遠いものが多いので、ごくかいつまみ紹介することにしたい。